超音波振動子の設置方法による、超音波制御技術を開発

報道関係各位
2012年07月11日
超音波システム研究所

超音波振動子の設置方法による、超音波制御技術を開発

超音波システム研究所（所在地：神奈川県相模原市、代表：斉木）は、
超音波振動子の設置方法による、定在波の制御技術を発展させ、
キャビテーションと加速度（音響流）の効果をコントロールする
新しい技術を開発しました

上記の技術により、大きなエネルギーを必要とする
３００－２０００リットルの液体に対して
攪拌・霧化・洗浄・改質・・・が可能となります

－今回開発した技術の応用事例－

溶剤に対する、ナノレベルの触媒の攪拌・分散
（鍍金液へのカーボンナノチューブの攪拌・分散
塗料へのカーボンナノチューブの攪拌・分散）

複数の汚れによる、付着力の異なる洗浄対象に対して
あるいは、形状の複雑な部品の表面改質に対して
適切な超音波照射の実現。

最も効果的な事例
金属・樹脂部品・材料への表面改質（残留応力の緩和）

■超音波技術

これは、新しい方法および技術です、
今回の解析結果から
様々な応用事例(注）が発展しています。

注：
１）乳化・分散に関する、パルスジェットの利用
２）化学反応促進に関する、媒体への伝搬周波数制御
３）表面改質に関する、高速処理
４）金属アドマイジング処理

なお、今回の技術をコンサルティング事業として、
展開することを計画しています。

【本件に関するお問合せ先】
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
超音波システム研究所 担当：斉木
メールアドレス info@ultrasonic-labo.com
ホームページ http://ultrasonic-labo.com/
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com